

ズバリ町政を問う

●一般質問とは議員が町政全般（一般事務・事務の執行状況・将来に対する方針など）について、町長など執行機関の考えを議員個人として問いただすことです。
 ●一般質問は会議録にもとづき議員個々の自由編集で掲載しております。詳細は会議録（HP・図書館・各公民館に置く）をご参照ください。掲載は質問順としています。

消費者対策 消費相談窓口の設置を

答弁：週2日の開催で実施

二宮 美津代 議員



二宮 平成21年9月施行の消費者安全法で、各自治体に相談窓口の設置が義務づけられている。どう対応するのか。地域交流課長 今年初めての開催であり、県の補

助金で週2日の人員配置を計画している。

二宮 悪質な商法で被害も多様化している。常設の消費者センターを広域で共同化できないか。町長 広域のメリットもあり、町長会で協議し、共同化できるよう努力する。

志免町民の幸福度は 答弁：判断は難しい

二宮 国内総生産（GDP）

P）で図れない心の豊さ、地域のつながり、自然環境といった尺度からみる国民総幸福度（GNH）の考えが注目されている。内閣府がその指標を出しており、それに沿って志免町の幸福度を捉え、課題を町政に反映させる取り組みを。

町長 捉える判断が難しい。総合計画の施策指標を上げ幸福度につなげた



▲消費生活相談窓口を地域交流課内に設置



▲えいごであそぼ！

園児に英語

87歳祖母のねがい

答弁：支援を見きわめる

牛房 良嗣 議員



牛房 こども達が将来世界で活躍できるように、保育園のときから「英語と遊ばせ・学ばせる」方を昨年9月議会で提案した。検討の結果を問う。

町長 国際化のすすむ中、園児の時から英語を学ばせることは大変有意義と考えるが、各保育園とも独自の指導があり、どのような支援がよいのか検討を進めている。

あちゃんの願いとこどもの夢をかなえて下さい。町長 実験的な取り組みをし、検証してそれがどのようなものになっていくのかなどを踏まえながら、今後どのように拡大発展していくのかを見たいと思う。

- 【その他の質問】
- 待機児童の解消
- 「滞納10億円」の解消へ本気度を示す。
- 人口増加と地域経済

CO₂対策 緑のカーテンで

答弁：普及していきたい

助村 千代子 議員



助村 建物の温度上昇抑制、省エネや温暖化防止対策として、緑のカーテンを家庭や公共施設への普及を。生活環境課長 取り組んでいる家庭を広報等で紹

介し普及していきたい。

助村 育成のポイント等の情報や収穫祭等で楽しみながら新たな取り組みは。町長 うまくいかない原因もわかっているのでチェック改善する事で、そのうち収穫祭等ができるようになると思う。

交通安全の推進を 答弁：教育の実施を検討

助村 自転車は道路交通

法の適用を受けないと認識している人が多いが、増加する自転車の事故防止に力を入れる必要があると考えるが。生活環境課長 粕屋警察署と連携し、交通安全教育の実施を検討していく。

助村 通学路の朝の通学指導は思い思いの指導となっている。学校との連携が必要では。生活環境課長 検討する。



▲緑のカーテン